

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月22日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902249		
法人名	有限会社 永翔		
事業所名	グループホーム であい		
所在地	北海道旭川市東光16条7丁目3番15号 (電話) 0166-37-8811		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年12月15日	評価確定日	平成20年12月25日

【情報提供票より】(平成20年11月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年6月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	16人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600 円	その他の経費(月額)	19,900~25,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,350 円	

(4) 利用者の概要(11月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	5 名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 82 歳	最低	64 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ふくい内科小児科・豊岡中央病院・大和歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設長・職員は理念(1おもいやり、2生活にうるおい、3感謝の心)と運営方針を意識し業務に専念しており、主要職員の異動がない。また職員は利用者が安心・安全に入浴が楽しめるよう入浴台を作るなど向上心が高く、職員一人ひとりが目的意識的にチームケアを目指している。退所された利用者がその後ホームにボランティアとして関わる等、その時々々の要望に応じた事業所の多機能を活かした柔軟な支援をしている。そして何よりも家族との連携が密にされており、利用者アンケートでも「穏やかで平和に暮らしている姿を見るたびに職員に優しくされて暮らしている」との声が多い。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価での改善課題に運営者・職員全員で取り組んだ様子がうかがえる。「市の保健所と連携し食事のバランス」など積極的に相談し、職員手作りの食事がより利用者の楽しみとなる等も実現した。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価及び外部評価と理念・運営方針の整合性などを検討し、気付きの機会として取り組んでいる。またそれらのことをケアサービスの質の向上にも活用している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	6月以降は運営推進会議については開催に至っていないが現在、運営推進会議の在り方を含め検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの相談や苦情には施設長・管理者が対応している。家族などには利用者の日常生活の様子を話し情報を共有すると共に不安の解消に努めている。また家族の意見や要望事項においてはミーティング等で職員に報告して改善に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	施設長は町内会の役員を担い、ゴミ拾いや敬老会等の行事も積極的に参加している。またホーム主催の夏祭りには職員が全世帯に案内の文書を配るなど地域の人々との交流が図られている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「思いやり・生活にうるおい・感謝の心」を理念とし、施設長の独自性を活かしながら家庭的環境の下でサービスの提供を行っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関やスタッフルームに掲示し、ミーティングや会議の都度確認している。また運営方針とも連動していることが、スタッフの表情やホーム内の雰囲気から日々の取り組みが感じられた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設長は町内会の世話役をし、年2回のゴミ拾い・敬老会や夏祭りなどの行事に参加している。また近隣の小学校とのネットワークにより車椅子の寄贈を受けるなど日常的に交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価と理念・運営方針の整合性などを検討し、気付きの機会として取り組んでいる。またそれらのことをケアサービスの質の向上にも活用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	6月以降は運営推進会議については開催に至っていないが現在、運営推進会議の在り方などを検討している。		今後は定期的な運営推進会議の開催が望まれる。更には地域住民代表の委員を拡大し、より多くの視点からの意見をもらうなど、今後の取り組みに期待します。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市の保健所にメニュー表を持ち込み、食事バランスや栄養状況などを相談するなど積極的に連携を図っている。また地域包括支援センターとは常に情報の交換をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	2ヶ月に1回、「であい新聞」を発行し、ホームの催しや出来事を知らせている。季節感にあふれ簡潔にまとめられた紙面は読み易く、ホームと家族との大きな絆になっている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族が来所の折には、管理者・ケアマネジャー・職員が対応し、入居者の日常の様子を話すと共に要望や相談を受けている。家族の意見や要望事項はミーティング等で職員に報告して改善に努めている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	開設当初から主要職員の異動はない。施設長は働きやすい環境づくりに努め、出来るだけ永く継続できるよう心がけており、代わる場合は利用者へのダメージを必要最小限に抑えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップ支援の為、市内外の研修会に可能な限り参加できるよう配慮している。ホーム内では月1回、代表者が中心となり勉強会も行っている。</p>	○	<p>年間計画を作成し、系統的な育成を期待します。また中堅職員には認知症ケア専門士などの取得にむけ、更なるスキルアップが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>施設長はより高いサービスの提供を目指し、最近ケア研究会に加入している。また同業者との交流を行うなかでネットワークを広め、サービスの質を向上させていく取り組みが行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者・家族の意向や希望を受け止め、生活習慣や環境の違いによる不安を取り除き、今までと同じ生活をできるように配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は家族と同じように過ごしなが、利用者の能力や得意分野を引き出している。また人生の先輩としての利用者からの知恵も得ながら共に支え合っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの日常生活行為の中から、利用者の現在の気持ちを知ることが出来るよう、本人・家族に声かけをし、思いや意向の把握に努めケアプランに活かされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	毎月のカンファレンスで介護計画の評価を行っている。また日頃より家族と連携を取りながら、本人・家族に要望を出してもらうなどして介護計画に反映している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	状況に応じて介護計画の見直しをている。利用者の日常の様子等から、変更の必要が生じた場合には直ちに関係者と話し合いの上、現状に合った新しい介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	退所された利用者が、その後当事業所にボランティアとして関わるなど、その時々々の要望に応じた柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームには3名の看護師が配置されており、かかりつけ医への通院には同行し、治療状態を把握するとともに今後の治療方針についての説明を受けている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重要事項説明書等には看取り「指針」について明文化されていないが、家族・医師・看護師と連携し慎重に対応するよう職員間で共通の認識が持たれている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の日常生活支援においては、プライバシーや羞恥心に配慮した言葉遣い等している。また個人情報保護法に基づき、面会簿の様式を変更するなども行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>今までと同じ生活ができるよう、利用者のペースや体調に合わせ、自由にリラックスした環境で個性を活かせるような支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	市の保健所からのアドバイスを活かし、減塩食などの食事療法も取り入れている。また利用者の希望を聴き、食事が楽しみの一つとなるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回の支援が行われ、安心・安全に入浴が楽しめるよう、入浴台を使用するなどの工夫もしている。	○	利用者の安全を第一に考え、職員が入浴台を作り、安心して湯舟に浸かる満足感や爽快感を醸しだしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の日常生活からも引き出したり、趣味や得意なことを家族から聴いて支援をしている。自由な時間にはエレクトーンなどを職員とともに楽しんでおり、やすらぎのある生活を提供している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や美容室など個人的な外出には即日対応するなど積極的に支援し、職員も同行している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の外出傾向も職員間で把握し、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消火器を使った火災訓練に利用者も加わり実施している。また避難口には車椅子対応のスロープを設置した。また来年の5月と9月に災害訓練の日程を決めるなど防災意識の高まりがうかがえた。</p>		<p>今後は地域との連携や協力を得た防災への取り組みが望まれる。</p>
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>市の保健所のアドバイスを基に職員が献立を作り、バランスの良い調理に心がけている。リビングには自由に水分補給ができるようにも工夫している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広く開放的な玄関・事務室前やリビングなどにはベンチが置かれ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また換気システムにより、臭いや空気のよどみがなく、温度等にも配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者本位で居心地良く過ごせる部屋作りに努め、使い慣れた家具や愛用のものを持ち込み、家族の写真を飾る等、入居前の生活とあまり変わらぬよう配慮している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。